

令和7年度 指定管理施設評価票

1 基本情報

(令和8年3月31日時点)

施設名	港区立高輪区民センター						
指定管理者	社会福祉法人奉優会						
指定期間	令和 6 年 4 月 1 日 ~ 令和 11 年 3 月 31 日						
募集方法	公募	グループ化の有無	-	利用料金制の採用	-	使用許可権限の付与	-
施設所管課	高輪地区総合支所管理課						

2 職員体制

(単位：人)

	正規			非正規			委託(シルバー人材センター等)	合計
	常勤	非常勤		常勤	非常勤			
職員数	1	1	0	6	3	3	3	10
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考	
正規・非正規職員の退職者数		1	3					

3 指定期間における事業実績

事業実績	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考
施設利用実績延者数(人)	96,451	102,147				
貸室稼働率(%)	67.2	67.7				
利用実績件数(件)	6,550	6,570				

4 指定期間における経費実績

(単位：円)

項目		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	備考
経費実績	収入	63,969,808	64,841,714	0	0	0	
	指定管理料(清算後)	63,689,328	64,717,054				
	利用料金収入	0	0				
	その他収入	280,480	124,660				
	支出	61,781,786	64,717,054	0	0	0	
	職員人件費	26,074,572	27,904,943				
	光熱水費	0	0				
	修繕費	562,331	1,602,260				
	事業運営費	4,861,835	4,463,473				
	施設管理経費	25,472,446	25,768,638				
	その他経費	4,810,602	4,977,740				
	差引収支額	2,188,022	124,660	0	0	0	
年度協定書で定める指定管理料	63,787,014	71,673,000					

5 管理運営状況に対する評価

項目	評価視点	指定管理者による評価	区による評価		
			評価	加算	点数
【施設の維持管理】	① 設備機器の保守管理	仕様書等に従い、適切に設備機器の保守管理が行われ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	② 清掃及び衛生管理	仕様書等に従い、適切に清掃及び衛生設備の保守管理が行われ、施設が清潔に保たれていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	③ 修繕対応	迅速に修繕がなされ、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×1	5 / 5
【事業運営】	④ サービスの向上	事業計画書で定めた事業を適切に実施するとともに、公募時の提案や利用者の声を事業に反映するなどサービス向上を図っていたか。	5 / 5	×5	15 / 25
	⑤ 職員配置	事業計画書等で定めたとおり、必要な知識や技能を持った職員が適正に配置されていたか。	3 / 5	×2	2 / 10
	⑥ 人材育成	施設長や職員に対する研修などにより、サービスの向上に向けたスキルアップに取り組んでいたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑦ 労働環境	区が定める最低賃金水準額を遵守するとともに、ハラスメントが通報されないなど、職員にとって良好な労働環境が確保されていたか。	5 / 5	×2	6 / 10
	⑧ 安全管理・危機管理	施設の日常安全点検を実施するとともに、災害や事件・事故発生時の体制や対応の確立などにより、利用者の安全・安心が確保されていたか。	5 / 5	×3	15 / 15
	⑨ 個人情報保護・情報セキュリティ	個人情報や情報セキュリティの社内規程を整備し、区の規程とともに遵守して、適正に運用していたか。	5 / 5	×1	5 / 5
	⑩ 区施策への協力	高齢者や障害者の雇用促進、区内事業者の活用、施設の省エネ促進等、区の施策を理解し積極的に協力していたか。	5 / 5	×3	9 / 15
区による評価合計点					72 / 100

【各項目の評価について】

5点：当該項目に係る事項については、充実した取組が展開されていた。

3点：当該項目に係る事項については、概ね適切に取り組んでいた。

1点：当該項目に係る事項については、更なる取組の推進が必要であった。

※複合施設の入居施設等で、当該施設の指定管理者が設備機器の保守管理等を直接実施していない場合、該当項目は「－：評価対象外」とします。

指定管理者による自己評価	令和7年度は、前年度に比較して施設利用実績延べ者数106%、貸室稼働率101%、利用実績件数ともに向上しました。主催・共催事業では、子育て支援事業「リトミック」の継続開催で、子どもや保護者が気軽に相談や交流できる事業を定期開催しました。「輪い輪いまつり」では、石川県の物産展誘致で震災復興に寄与し、来場者数増加にもつながりました。参加者延べ1,374名、40団体と多くの方のご参加をいただき、明治学院大学、CCクラブ等の関係機関との連携を実施することができました。施設運営面で、設備の老朽化等の課題を指摘されたことについては、管理課と協議の上、区民ホール等の修繕工事を行いました。共催事業については、これまでの運用を見直し、より公共性の高い事業の開催を行うことを目的として、団体と協議し令和8年度の事業開催に向けての計画・準備を進めました。今後も、高輪地区のコミュニティづくりの拠点として、活力ある地域社会の実現を目指します。より多くの、様々な世代の方に利用していただけるよう、透明性のある公平平等な運営システムを構築します。そして、地域コミュニティの拠点として、地域団体や民間事業者との協働の機会を創出し、地域に根ざした事業運営を行っていきます。
区（施設所管課）による評価	区民センターの設置目的である、「相互交流・自主的活動の促進・区民福祉の増進」のため、地域交流の場となる「輪い輪いまつり」等では、物産展の誘致による震災復興への寄与や高輪地区内各大学の学生団体や地域の団体との連携が図られており、創作工夫が感じられました。昨年度を大幅に上回る参加者が来場し、地域の活性に大きく貢献しています。定期開催しているリトミック等の事業においても、参加者からは好評であり地域の子育て世代の交流の場となっております。事業が安定して充実している一方、適正な人員配置が行われていないことや施設利用者からの職員に対するご意見が散見されたため利用者に対する接遇の向上を指導するとともに区と指定管理者の打ち合わせの機会を増やします。引き続き、地域特性を活かし魅力的な事業の展開を行い、安全安心な施設管理を維持するよう指導してまいります。

6 評価

令和7年度の管理運営に関する総合評価

B

【総合評価について（項番5における区による評価合計点の得点率）】

S：施設の管理運営は特に優れていた（90%以上）

A：施設の管理運営は優れていた（80%以上90%未満）

B：施設の管理運営は適切に行われていた（60%以上80%未満）

C：施設の管理運営に改善が必要であった（60%未満）